



2024年5月16日

各 位

会 社 名 ホリイフードサービス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 藤田 明久
(コード番号 3077)
問 合 せ 先 取締役統括本部長 大貫 春樹
電 話 (029) 233-5825

減損損失の計上及び法人税等調整額(益)の計上 ならびに業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年3月期において計上しました減損損失の概要をお知らせすると共に、法人税等調整額(益)の計上ならびに2023年5月16日に公表いたしました通期業績予想と実績の差異を下記によりお知らせします。

記

1. 減損損失の計上について

当第4四半期会計期間において、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスになると見込まれる店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額した当該減少額13,491千円を「減損損失」として特別損失に計上いたしました。その結果、当事業年度において27,510千円を計上いたしました。

2. 法人税等調整額(益)について

2024年3月期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等調整額(益)51,065千円を計上いたしました。

2. 2024年3月期業績と前期実績の差異について

2024年3月期業績と前期実績の差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	4,620	50	35	23	4円25銭
実績 (B)	4,656	69	80	89	15円82銭
増減額 (B-A)	35	19	45	66	—
増減率 (%)	0.7	38.7	125.5	287.7	—
(ご参考)前事業年度	4,053	△354	△226	△278	△49円15銭

(業績予想と実績の差異の理由)

新型コロナウイルス感染症の5類への移行から、社会経済活動は正常化へ向け進展しており、景気は緩やかな回復基調が続いておりました。当社におきましては、売上は上半期こそ計画を下まわり推移したものの、第3四半期以降、忘年会獲得の強化をはじめ、原材料価格の上昇に対応したメニュー改定や、人流に合わせた人配置等による効率重視の営業活動により、営業利益は当初の計画を上回る結果となりました。

以 上